

第5回優秀女子学生賞 副賞のご紹介 と本賞のこれから

2014年度に『日本木材学会優秀女子学生賞』が創設されました。この賞は木材学とそれに関連する分野で、優れた研究業績を収め、将来を嘱望される本学会女子学生会員に毎年(原則)2名以内に授与されるものです。この賞の詳細とこれまでの受賞者、副賞については過去のウッドィエンスをご覧ください。

また、学会 Website の本賞の規定にもありますように、この賞は期限付きです。今回5年が経過し、今後について選考委員会にて検討されました。本賞が設立されてから5年経過し、若手(40歳以下)正会員の女性比率が右肩上がりになっていること、受賞者が皆正会員になって活躍いただいていることなどから、さらに5年続けることになりましたことを、合わせてご報告させていただきます。

賞の詳細と第1回副賞 http://www.jwrs.org/woodience/mm036/13_Fukusyou.pdf

第2回副賞 <http://www.jwrs.org/woodience/mm039/12Fukusho039.pdf>

第3回副賞 <http://www.jwrs.org/woodience/mm042/11Joshi42.pdf>

第4回副賞 <http://www.jwrs.org/woodience/mm046/0468.pdf>

本年度は、第69回日本木材学会函館大会の会期中の3/15に、学会賞授与式が開催され、優秀女子学生賞は 武田 ゆり 氏(京都大学生存圏研究所)「リグニンの化学構造—バイオマス利用特性相関解明に向けた代謝工学的研究」に授与されました。そこで、本年度の優秀女子学生賞の副賞について、簡単にご紹介させていただきます。

本年度も 副賞作成のための素材を(株)梶本銘木店様と(一社)木と住まい研究協会様からご提供いただきました。本年は ムラサキタガヤサンを頂きました・・・というか、今年も梶本銘木店様で、鉄刀木(タガヤサン)が待っていてくれました。

制作に関しましては、本年度も昨年度に引き続き昭和女子大学環境デザイン学科の中田士郎准教授にお世話になりました。制作は昭和女子大学環境デザイン学科中田研究室、デザインは宇田川舞(昭和女子大学3年)、ご指導はナカダシロウ先生でした。

(株)梶本銘木店様と(一社)木と住まい研究協会様そして中田先生、宇田川さんと研究室的皆さまありがとうございました。



今年の作品のタイトルは「All my tomorrow」です。以下は中田研究室よりいただいたコメントをまとめたものです。

<All my tomorrow>

「鉄刀木」と書いて「タガヤサン」と読む。
文字通り硬く、重く、それはまるで鉄の様な木で加工も困難である。
挽いてみるとオレンジ色の木地を見せるが、1週間ほどで酸化して焦茶に変わる。
今回、トロフィーの制作にあたって生活に寄り添ってもらえればと考え フォトフレームとしても使えるデザインとした。
受賞者とともに木目に深さを増し、人生の瞬間などを飾ってもらえたなら…

デザイン系の若手の皆様から研究職を目指す若手へ、気持ちを込めて作成いただくこの企画は、多くの皆様のご協力でなりました。本当にありがとうございました。そして、本年度受賞された方と今までの受賞者皆様の今後の活躍と、この賞の発展をお祈りしたいと思います。



中山 榮子

(男女共同参画担当理事、ダイバーシティ委員会委員長、昭和女子大学・院教授)